

北九州市民の会ニュース

「公契約条例を制定する会」学習会

10月17日(木)18時30分から生涯学習総合センター1階会議室で「公契約条例を制定する会」学習会の準備会が開かれました。準備会には、地区労連加盟組合や政党・民主団体などから18人が参加した。学習会は、11月21日(木)18時30分から戸畑生涯学習センター3階会議室を予定している。「公契約条例を制定する会」学習会について、協議し必ず成功を勝ち取る決意を固め合いました。準備会は、「公契約条例制定する会」永富会長の挨拶に始まり、永吉事務局長からこの間の経過と取り組みについて報告、質疑討論の中で、日本共産党北九州市議団小林事務局長が、9月議会での公契約問題についての質疑答弁の内容について発言、福建労、北九州地域ユニオン、憲法共同センター、JMITUの参加者から前向きな発言が続きました。事務局からは、学習会の運営について、参加確認のために10月23日、30日に各団体にオルグに入ることが表明されました。(堀田和夫さんFBより)



女性の会が「高齢者の買い物交通」で学習会

10月17日(木)、「平和とくらしを守る北九州女性の会」が「北九州の交通政策と高齢者の移動権」について学習会を開催した。講師は、山内涼成市会議員。山内議員は市交通局勤務の経験と知識から、たくさんの資料を使いたいへんわかりやすいお話であった。北九州市の交通政策の杜撰さ、高齢者の切実な買い物交通手段、どのような政策が望まれるか問題提起をされた。女性の会では、高齢者の買い物交通はじめ移動権を確保するために署名活動をする事が決められました。



全国革新懇交流会

10月19日、20日、神戸で全国革新懇交流会が開催されました。2000人を超える過去最大

規模の参加者で成功することができました。初日の全体会、2日目の分散会、各分科会を通じて、



「市民と野党の共闘」の発展を確信させる豊かな経験が交流されました。「野党は共闘」から「野党は連合政権を」一の声を草の根から広げる大きな機会となりました。また、会場で訴えました台風19号の被災者募金は、たくさんの協力により、496,310円を集めることができました。この募金は全額被災自治体に直接届けられます。福岡県革新懇からの参加者の報告集が近日中に作成される予定です。

「紫川流域を治めた人々のムラとくらし」連続講座始まる

10月20日(日)、北九州市の豊かな弥生遺跡を通して原始・古代の歴史と文化を探る連続講座の第1回目が開講されました。講師は佐藤浩司さん(埋蔵文化財保護対策委員会幹事)。紫川流域に「こんなすごい遺跡があった」というテーマで見事な話術とスライドで弥生時代の人々のくらしとムラの形成を説明された。今後も必見の連続講座だと思う。



第2回「囲われた弥生ムラと砂浜の記憶」

12月8日(日)14:00~15:30小倉南図書館
3Fセミナー室 主催:小倉南図書館
協力:城野遺跡公園を実現する会

第3回「時代の真ん中、ものづくりの先端」 2月予定

第4回「大地に根づく日々、助け合う重留・重住ムラ」 2020年4月予定

第5回「卑弥呼は知っていたか?城野ブランド」 6月予定

平和とくらしを守る北九州市民の会
〒803-0817 小倉北区田町13-21 田町ビル3F
TEL093-592-5000 FAX093-571-4346
<http://siminnokai.sakura.ne.jp>
e-mail:koe@siminnokai.com

第6回「新しい秩序、企救国の誕生」 8月予定

市民運動2団体が交流会

10月22日(火)、「城野遺跡公園を実現する会」と「八幡市民会館の活用を求める連絡会」が交流会を持ち、この日は主に、2団体主催で開催する市民の集い「これでいいの? 北九州市の文化行政」について最終的なスケジュールの打ち合わせと確認をしました。

11月4日(月)14:00 ムーブ5F大セミナールーム 北九州市出前講演、近藤英夫氏(日本考古学協会副会長)と竹下秀俊氏(八幡市民会館の活用を求める連絡会代表)の講演、その後パネルディスカッション。なお、2団体は翌日(11月23日)、埋蔵文化財センターの移転を白紙撤回させる議会陳情を教育文化委員会で行った。委員会では、高橋都・藤元聡美・村上さとし議員が移転計画の問題点を指摘したが、当局はこれまで通りの答弁を繰り返すのみであった。ただ今後、「市民運動団体と協議をしていきたい」との答弁を勝ち得た。陳情項目は継続審議となった。



3000万署名小倉地区の会」が 第14回実行委員会

高木健康弁護士の会長挨拶の後、野瀬事務局長が情勢報告と諸提案をしました。

主な決定事項は、
□11月9日(土)ロングラン宣伝



小倉駅デッキ

11:00~12:00 日本共産党 新婦人

12:00~13:00 健和会 地区労連

13:00~14:00 国民救援会 民商

□11月23日(土) 地域ローラー宣伝

9:30集合 清水1丁目、2丁目、
泉台1丁目~4丁目 12:30集約

□第15回実行委員会(次回)11月11日(月)

18:30 生涯学習総合センタ

大手町病院が健康まつり

10月26日、晴天に恵まれた大手町病院の健康まつりは、たくさんのお子どもたちが市民とともに集まって楽しい一日になりました。ス



テージは多彩な催しもの。歌もダンスもプロ級でした。お店もたくさんの賑わい。健康チェックコーナー、子ども広場。豪華景品の参加者抽選会。

「楽しませていただきました。皆さんご苦労さんでした」と、参加者の声。

第39回福岡県自治研フォーラム

10月27日(日)、自治研フォーラムが開かれた。午前は全体会議で石川捷治氏(九大名誉教授)、「東アジアの平和と市民の役割」と内山昭氏(立命館大学上席研究員)「軍事大国・富者天国から脱却する道」の刺激的な講演だった。午後は5分科会。参加者全員が深い学びをした充実した一日であった。

①基礎講座「自治体戦略2040」 (上からの自治体再編)をどう見るか

1. 基礎講座 三輪俊和(北九州市立大学名誉教授(理論経済学))
2. 自治体財政の動向~北九州市を例に 是石喜文(北九州市OB)
3. 医療・介護費と自治体財政の近未来 宮崎康徳(研究所研究員)
4. 市長期総合計画案と循環型地域経済の確立 柳 明夫(糸島市会議員)

②記憶されない歴史は繰り返される

1. 日韓の対立の原因とその背景(堀田広治 日本コリア協会・福岡 理事長)
2. 道徳教育の復活と教育の右傾化(牧 忠孝 教科書問題を考える福岡の会事務局長)

③食と農の安全性を考える..今日の食料・農業問題の課題を多角的に分析、交流、指針を示す

<講師> 高木正見(九州大学名誉教授)
戸島信一(宮崎大学地域資源創成学部特別教授)

④持続可能なまちづくりと特区問題を考える

1. 基調報告-斎藤輝二(元東和大学教授)
2. 大牟田市における市庁舎(登録有形文化財)の利用か解体か-藤木雄二(市庁舎本館の保存と活用をめざす会事務局長)
3. 八幡市民会館の活用を考える市民運動-三崎英二(八幡市民会館の活用を求める会役員)
4. まちづくりを支える行政体そのものの課題
①自治体における保育実施責任劣化の実態と課題-原田秀一(社会福祉法人紅葉会専務理事) ②行政体内部の職場のありかた、非正規職員の増大

⑤特別講座・映画を楽しむ学ぶ..「ヨーロッパの反戦映画」

講師 矢野寛治(中洲次郎・映画評論家)

【矢野先生から】

1930年「西部戦線異状なし」(ルイス・マイルストン監督)、1937年「大いなる幻影」(ジャン・ルノワール監督)、1946年「戦火のかげ」(ロベルト・ロッセリーニ監督)、1961年「かくも長き不在」(アンリ・コルビ監督)、1970年「ひまわり」(ヴィットリオ・テジカ監督)ほか。上記作品を中心に、その時代、民族とは、国家とは、人間とは、戦争とは、を考えます。

さよなら原発金曜行動

18:00~19:00

小倉駅デッキ

11月1日、11月8日

11月15日、11月22日